

(前頁から続く)

推進されてきた実績を紐解いて、内容確認すると共に 徐々にですが、日々事業部の実務を悪戦苦闘しながら取り組んでおります。そして、先輩諸氏の多忙な勤務、日々のご努力を目の当たりに致しまして、少し気の引き締まる思いです。

わ の定款第二条に「蓄積された知識・技能を有し、豊富な経験を積んだ人たちの能力を福祉活動・健全な街づくり・健康づくり・環境保全啓発・国際協力・生活文化の伝承・障害者、高齢者、学童の健全な育成と公益の増進に寄与することを目的とする。」とあります。この目標を達成するには、依頼されたボランティア活動に対して、この目的をもって活躍されている部会・区会の方々と一緒になって対処していかなければなりません。イベントには多くの方々にご参加頂き推進していくこととなります。どうぞ 今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

米倉 和子 理事(事業担当・副)

グループわのボランティアのコーディネータをさせてもらって3年目を迎えました。グループの皆様のパフォーマンスの多さにびっくりしています。とくに、フルーツフラワーパークでのイベントでは大活躍していただいております。フルーツフラワーパークでは、秋に“わの日”で文化部会の皆様にご参加していただく予定です。

増金 スミ子 理事(事業担当・副)

「自分の人生を大きく生きる」

グループわの活動も早3年目を迎え、“大成期”(後述)までとはいきませんが、ボランティア活動の基礎を十分勉強させていただき、次なるステップに精進を重ねている所です。日本の武道や芸事には「守・破・離」という教えがあります。“守”とは、教えられた(オーソドックス)そのままを身につける。“破”とは、ある程度身につけた基礎の上に自分の才覚や工夫によって基礎と違ったやり方を身につける。“離”とは、“守”、“破”を行った上で他人に教えられたこと、自分の考えでおこなって良かったことをミックスして実行する。

「守・破・離」は、修練期、躍進期、大成期とも言い換えられますが、いづれにしても人生は岐路の連続です。今は“わ”での仕事を、Plan-Go-Seeの形でチームワークを取りながら頑張っています。

土井 昭政 非常勤理事(区会代表)

「区会活性化を担って」

本年度の北区会長の要請を、突然前会長からあり、何も判らずに引き受けたところ区会のまとめ役として、本部の非常勤理事を理事長から仰せつかった。

私はカレッジを卒業後いなみの学園に在籍したが1年で退学し、その後“わ”の国際部長を担当し、“わ”の業務を若干知り得たが、区会や本部の業務内容詳細は、あまり知らなかった。今も本部や区会の実情を把握しないまま区会長と理事を担当しているしだいである。しかし、“わ”は、本年度その活動原点である“地域社会での社会還元”に重きをおき、区会の活性化に取り組むことになっており、北区会は言うまでもなく、区会の取りまとめ役として各区会長とともに区会の活性化に精力を注ぎたいと思っている。

本部には多くの理事が在籍され、夫々担当業務を遂行されているので、一緒になって担当業務の遂行をはかりたいと思っている次第である。

菅田 忠志 非常勤理事(部会代表)

今年度非常勤理事に選任いただきました生環11期の菅田でございます。私は会員登録して3年目になりますが、入って感じたことは「なんと幅広い分野で活動されておられる方々の集団であることか」ということでした。私の頭の中でのボランティア団体、とりわけ NPO法人といわれる団体は、まず「こんな活動をするんだ」という創設者の思いがはっきりしており、その思いに共鳴する人たちが集い、ベクトルを合わせ、たてた目標に向かって行動するものと認識していました。

ところがグループ わ はそうではなかった。3年間の学びを生かし、自分流にボランティアな行動をしていくことが期待されていました。1,200人を擁するパワーで、いろいろなことが出来る人たち
(次頁へ続く)

[前のページへ](#)

[次のページへ](#)